

平成30年1月
市川市教育委員会 定例会 会議録

市川市教育委員会

平成30年1月市川市教育委員会 定例会 会議録

1 日 時 平成30年1月11日(木) 午後3時30分開議

2 場 所 市川市南八幡仮設庁舎会議室

3 日 程

- 1 開会
- 2 会議成立の宣言
- 3 議事日程の決定
- 4 その他
- 5 閉 会

4 本日の会議に付した事件

- 1 その他 (1) 平成29年12月市議会定例会について
(2) 平成29年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る
文部科学大臣表彰について

5 出席者

教育長	田中 庸惠
委員	五十嵐 芙美子
委員	平田 信江
委員	平田 史郎
委員	島田 由紀子
委員	大高 究

6 出席職員、職・氏名

教育次長	松下 大海
生涯学習部長	佐野 滋人
生涯学習部次長	伊藤 幸仁
学校教育部長	永田 博彦
学校教育部次長	井上 栄
教育総務課長	板垣 道佳
教育政策課長	根本 泰雄
教育施設課長	湯本 明男
青少年育成課長	野村 良二

社会教育課長	関上	亨
考古博物館長	須藤	治
義務教育課長	小倉	貴志
学校安全安心対策担当室長	石塚	浩
指導課長	吉野	和雅
就学支援課長	六郷	真紀子
保健体育課長	佐藤	伸雄
学校地域連携推進課長	堀江	智
教育センター所長	高井	伸明

7 事務局職員、職・氏名

教育総務課	主 幹	室岡	稔
〃	副主幹	岡田	靖弘
〃	主 任	鈴木	庸代
〃	主 任	大島	裕美
〃	主任主事	加澤	俊

○教育長

ただいまから、平成30年1月定例教育委員会を開会いたします。本日の会議は、教育長及び委員の過半数が出席しておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により成立いたしました。この定例会の会期は、市川市教育委員会会議規則第3条第2項の規定により、本日1日といたします。本日の審議案件は、その他2件で、お配りいたしました議事日程のとおりでございます。日程に従い議事を進めます。はじめに、「会議録署名委員の指名」を行います。市川市教育委員会会議規則第39条の規定により、会議録署名委員は、五十嵐芙美子委員、大高究委員を指名いたします。続いて、議事の進行を行う委員の指名を行います。市川市教育委員会会議規則第31条の2の規定により、教育長において、五十嵐芙美子委員を指名いたします。五十嵐委員、よろしく願いいたします。

○五十嵐委員

それでは、「その他」に入ります。「(1)平成29年12月市議会定例会について」のご説明をお願いいたします。

○教育次長

はい、教育次長でございます。それでは、平成29年12月市議会定例会についてご報告申し上げます。議事日程の1ページ、その他(1)をご覧ください。まず「1 会期」ですが、12月議会は、12月12日から18日までの7日間開催されました。次に「2 教育委員会所管の議案」ですが、12月議会では2件の議案がございました。まず、議案第44号「平成29年度市川市一般会計補正予算(第4号)」ですが、教育費関係の主な歳出予算は、「放課後保育クラブの増設に必要な経費」として6,300万円、「金井宣茂宇宙飛行士が滞在する国際宇宙ステーションとの交信公開観覧イベントに必要な経費」として300万円を計上しております。これは、金井宇宙飛行士の母校である本市の稲荷木小学校で、交信の様子インターネット中継や宇宙に関する講演などを行うための経費となります。本補正予算案につきましては、全会一致で可決されております。続いて、議案第54号「教育長の任命について」ですが、平成30年3月31日をもって任期満了となる田中庸恵教育長の再任について、議会の同意を求めるものでございます。本議案につきましては、賛成多数で可決されております。次に「3 教育委員会所管の質問項目」ですが、代表質問が2会派よりございました。今回は、補正予算案に増設の経費を計上した放課後保育クラブのほか、個人や個性を重んじた教育、地域集会施設についての質問がございました。最後に「4 教育委員会所管の主な質問内容と答弁」につきまして、本日は、2点の質問項目についてご報告申し上げます。まず、「放課後保育クラブについて」ですが、現状と来年度に向けた増設、設置場所などについてご質問がありました。答弁では、下線部を中心に読み上げますが、まず現状については、『定員総数よりも入所者数が少ないが、児童が通学して

いる学校にあるクラブを保護者が希望していることなどから、待機児童が発生』するところもあること、そのため、『7カ所を増設し、定員を約200人増やした』こと、その結果、次の下線部ですが、『平成27年度と比較すると、12クラスの増設及び増床などにより、入所者数は約1,100人増えている』旨答弁しております。次に、来年度に向けた増設についてですが、平成30年度の利用申請の結果を踏まえ、下線部のとおり、『利用希望者の多い学校で、施設転用、施設改修ができる10校に保育クラブを増設したい』旨答弁しております。次に、学校内における保育クラブの設置場所をどのように決定しているのかについてご質問があり、下線部のとおり、『はじめに学校長に転用可能な余裕教室があるか確認』し、『余裕教室がない場合は、ほかに保育クラブとして転用できるスペース等があるか学校長と協議』していること、そして転用可能な場所があれば、『安全面や環境面、また法令等を確認した上で保育クラブにする場所を決めている』旨答弁しております。続いて2ページをご覧ください。「個人や個性を重んじた教育の推進について」ということで、はじめに、昨年、報道で取り上げられた大阪府の学校の「黒髪指導」や東京都の学校の「地毛証明書の提出」などについて、市川市で同様の指導は行われていないかについてご質問がありました。答弁では、下線部のとおり、『本市では、生まれつきの髪色や髪質に対し、それを統一的な規定のものに変える指導が行われることは一切ないと認識』している旨答弁しております。続いて、市川市では個人や個性を重んじた教育をどのように行っているのかについてご質問がありました。答弁では、まず一つ目の四角、個人に応じた教育ということで、『学習面で「少人数学習等担当補助教員」の配置や「校内塾まなびくらぶ」の設置等を通し、個に応じた指導の充実』を図っていること、『相談面では、一人一人の悩みなどの相談に応じられるよう「ゆとろぎ相談員」や「カウンセラー」を配置』していること、更に、『特別な支援を要する児童生徒への対応として、「特別支援学級等補助教員」を配置』するとともに、『個別の教育支援計画「市川スマイルプラン」を作成』している旨答弁しております。次に二つ目の四角、個性に応じた教育ということで、『道徳における「個性の伸長』』を挙げ、『義務教育9年間の全学年で、系統的・段階的な指導計画が構成されており、主に「自分の個性を知り、自己の向上を図ること」がねらい』となっていること、また、『小学3年生からは、「相互理解・寛容」についても学習することで、自分自身について考えるだけでなく、他の個性を尊重できる子どもの育成にもつなげている』旨答弁しております。議会報告は以上となりますが、ご質問等ございましたら、所管課長より回答いたします。よろしく願いいたします。

○五十嵐委員

ありがとうございました。それでは何かご質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。また何かありましたらその都度出させていただきたいと思っております。続きまして、「(2)平成29年度「障害者の生涯学習支援活動」に

係る文部科学大臣表彰について」のご説明をお願いいたします。

○指導課長

はい、指導課長です。資料の3ページをご覧ください。このたび、障害者の生涯学習支援活動の普及、発展に貢献し、顕著な成果を上げた団体として、市川市から推薦しておりました「須和田日曜大学」が、文部科学大臣表彰を受けたので、ご報告させていただきます。「須和田日曜大学」は、昭和50年、当時の市川市立養護学校の青年学級として始まり、のちに「日曜大学」となりました。須和田の丘支援学校高等部の卒業生を中心に、余暇活動の一つとして、卒業後の生活を豊かにすることを目的に開催しております。概ね月1回、日曜日に須和田の丘支援学校で開催し、卓球、ソフトボール、手芸、調理、カラオケなどのサークル活動に取り組み、その後軽食を取りながら友達やボランティアなどと交流を深めているところです。卒業生の保護者が事務局を務め、須和田の丘支援学校の職員や元職員などがボランティアとして協力しております。18歳から上は60歳の方まで、毎回30～40名程度の参加者があります。今月14日には成人を祝う会も行われる予定でございます。昨年12月7日に文部科学省で表彰式が開催され、須和田の丘支援学校の高梨治夫校長と、代表の久保田理美子氏が参加され、表彰状が授与されました。「これからも伝統を継承し、より良い活動をしていきたい。」と話されておりました。以上でございます。

○五十嵐委員

ありがとうございました。日曜大学は、大学なのですよね。大学には行けないけれども、高校が終わったら次に集まるのは大学だろうということで、命名した校長先生がいらして、それで、青年学級というよりは、大学で、須和田の場所をとって、日曜日に行うので、「須和田日曜大学」という名前になったのですね。卒業生はとても楽しみにしていて、月に1回通っています。是非行ってみてください。それでは、教育長お願いいたします。

○教育長

これもちまして、平成30年1月定例教育委員会を閉会いたします。

(午後3時43分閉会)